

改訂にあたって

はしがき

chapter1 刑事政策学の課題と方法

- | | | |
|---|---|-----|
| 1 | 刑事政策とは何か | 001 |
| | 刑事政策における合理性／犯罪をめぐる諸問題／犯罪防止は犯罪対策の唯一の目的ではない | |
| 2 | 犯罪とは何か | 004 |
| | 犯罪現象としての犯罪／立法による犯罪ラベルの創出／法執行による犯罪ラベルの付与 | |
| 3 | 対策固有の問題 | 008 |
| | 対策の統制／価値の調整／民主的統制 | |
| 4 | 犯罪防止の戦略配置 | 011 |
| | 犯罪の原因／犯罪の防止策 | |
| 5 | 学問としての刑事政策 | 015 |
| | 事実判断と価値判断／事実判断と刑事政策／事実認識と価値判断 | |

chapter2 犯罪対応の制度

- | | | |
|---|---|-----|
| 1 | 刑務所に入るのは誰か | 019 |
| | 刑務所収容者数／刑務所収容者数は何に規定されるのか | |
| 2 | 刑務所への道のり | 022 |
| 3 | 独立変数としての犯罪対策 | 027 |
| | 刑事制度からの出口／誰が決めるのか／犯罪対策 = Σ (意思決定)／再び、刑務所収容者数は何に規定されるのか | |
| 4 | 見えるものと見えないもの | 033 |

chapter 3 刑罰制度

1	刑罰とは何か	038
2	なぜ刑罰を科すのか	038
	応報刑論／目的刑論	
3	刑罰の歴史	039
	国家刑罰権の成立以前と以後／封建制度下の刑罰／拘禁刑の出現／監獄改良運動	
4	刑罰の種類	044
	死刑／死刑存置論 vs 死刑廃止論／国際社会と死刑／死刑と民意／被害者遺族と死刑／裁判員制度と死刑／死刑と代替刑／自由刑／自由刑をめぐるいくつかの議論／財産刑／執行猶予／刑罰に類似の制裁／刑罰の付随効果	

chapter 4 刑事制度からの離脱と社会的包摂

1	犯罪者の処遇とは何か	069
	犯罪者の処遇と社会復帰／犯罪者処遇に関する国際的動向と日本の法改正／日本における犯罪者処遇の現状と課題	
2	司法的処遇	074
	ダイヴァージョン (Diversion)／日本における司法的処遇／刑事司法と福祉／問題解決型裁判所	
3	施設内処遇	079
	受刑者の人権と法的地位／社会復帰行刑の核心／刑事施設内の生活／受刑者処遇の基本制度／矯正処遇の充実／未決拘禁者の処遇	
4	社会内処遇	097
	社会内処遇の現状／仮釈放／保護観察／更生緊急保護／刑事制度から離れた人への生活支援と再犯防止／新たな社会内処遇の方法	

chapter 5 犯罪被害者

1	被害者の登場	106
	被害者の位置づけ／被害者とは誰か／被害者の扱われ方	

2	被害者保護へ向けての世界の動き	108
	アメリカにおける被害者支援制度／イギリスにおける被害者支援制度	
3	被害者保護へ向けての日本の動き	109
	犯罪被害の実情と犯罪被害者等給付金制度／警察段階における被害者支援／検察段階における被害者支援／被害者保護の躍進／刑事手続きにおける被害者への配慮／犯罪被害者の保護をはかるための刑事手続きに付随する措置に関する法律	
4	被害者保護と少年の成長・発達権	118
	少年法改正／審判記録の閲覧・謄写制度／審判結果等の被害者への通知制度／被害者からの意見聴取制度、被害者等による少年審判の傍聴	
5	発展する被害者保護政策	120
	被害者参加制度／被害者参加人には何ができるか／公訴時効の延長と廃止	
6	被害者をめぐるその他の問題	126
	マスコミと被害者／弁護士による被害者支援／被害者とPTSD／被害者と厳罰化	

chapter 6 非行少年の手続きと処遇

1	少年非行の現状	134
	青少年の問題行動と少年非行／日本社会の変容と少年非行／少年法制の改正	
2	少年法の理念と少年司法制度の特徴	142
	少年法における子ども観と成長発達の理念／全件送致主義／調査前置主義／保護処分優先主義	
3	少年非行と警察	146
	非行の発見活動／非行防止活動／少年事件の捜査・調査	
4	少年審判手続	149
	少年審判の機能／少年審判手続の開始と観護措置決定／少年審判の方式／試験観察／終局決定／少年の権利と国際的動向／触法少年の手続きと処遇	
5	少年刑事事件の手続き	156
	刑事処分相当性の判断基準／少年刑事手続と健全育成／少年刑事事件の量刑／少年と死刑	

6	非行少年の処遇	163
	保護処分選択の基準／保護処分の種類／少年院における処遇と少年院法改正	

chapter7 現代社会と犯罪

1	児童少年の成長発達の保護と犯罪	167
	福祉犯罪／体罰／児童虐待	
2	格差社会と犯罪	174
	格差社会と刑事政策／精神障がい者と犯罪／高齢社会と犯罪	
3	企業と犯罪	182
	ホワイトカラー犯罪とは何か／なぜホワイトカラー犯罪か／ホワイトカラー犯罪の特徴／ホワイトカラー犯罪の対策／安全な社会？	
4	共生社会と犯罪	186
	DVとは何か／DV防止法／DV対策の難しさ／DV対策についてのいくつかの展望／ストーカー犯罪とその規制／性犯罪	

chapter8 現代刑事政策の実践的課題

1	刑事政策という語	195
2	刑事政策に関する経験則	196
3	犯罪非行を行う必要のない社会に向けて	197
4	警察・司法の効率と犯罪	199
5	一度犯罪を行った者の反省と更生	200
6	加害者・被害者関係	201
7	刑事政策と他の諸政策	203

文献案内

事項索引

◀ Column 目次 ▶

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1 刑事政策の根本問題:刑法学と刑事政策…17 | 12 刑事施設・留置施設の医療…85 |
| 2 犯罪対応の経費…31 | 13 受刑者の再犯防止のために何ができるか…103 |
| 3 再犯率と再犯者率…37 | 14 損害賠償を取りやすくする制度的改善…122 |
| 4 薬物犯罪…41 | 15 刑事弁護と被害者との関係…130 |
| 5 禁 錮…55 | 16 修復的司法…132 |
| 6 罰 金…60 | 17 子どもの居場所とおとなの責任…140 |
| 7 刑の一部執行猶予…63 | 18 少年司法…144 |
| 8 労役場留置…67 | 19 環境と性格、福祉と教育…148 |
| 9 国際受刑者移送法と禁錮…71 | 20 付添人の役割と国選付添人制度の拡大…152 |
| 10 軽微犯罪者の処遇…73 | 21 専門家証人…160 |
| 11 刑事弁護における福祉的活動…77 | 22 精神障害…180 |